

神戸市内景況・雇用動向調査

第45回 結果報告書

令和7年9月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2025年9月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14
3. アンケート内容（オンライン調査）	23

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数：751、回収率：37.5%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	4	60	87	151 (400)
食料品	1	12	10	23 (34)
化学・石油	0	4	13	17 (42)
ゴム	1	6	9	16 (58)
鉄鋼・金属	1	13	20	34 (49)
一般機械	0	10	4	14 (84)
電信・輸送	1	4	6	11 (60)
その他	0	11	25	36 (73)
非製造業	8	280	312	600 (1,600)
建設業	0	9	69	78 (125)
運輸・倉庫業	0	15	14	29 (70)
卸売業	0	38	32	70 (113)
小売業	2	53	68	123 (310)
不動産業	0	14	40	54 (111)
情報サービス	2	13	12	27 (36)
宿泊・飲食	2	37	16	55 (311)
対事業所	2	58	38	98 (286)
対個人	0	43	23	66 (238)
合計	12	340	399	751 (2,000)

(定義)

() 内は調査対象企業数

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員数5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2025年9月5日（金）～2025年9月26日（金）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（％）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（％）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2025年9月）～結果の概要～

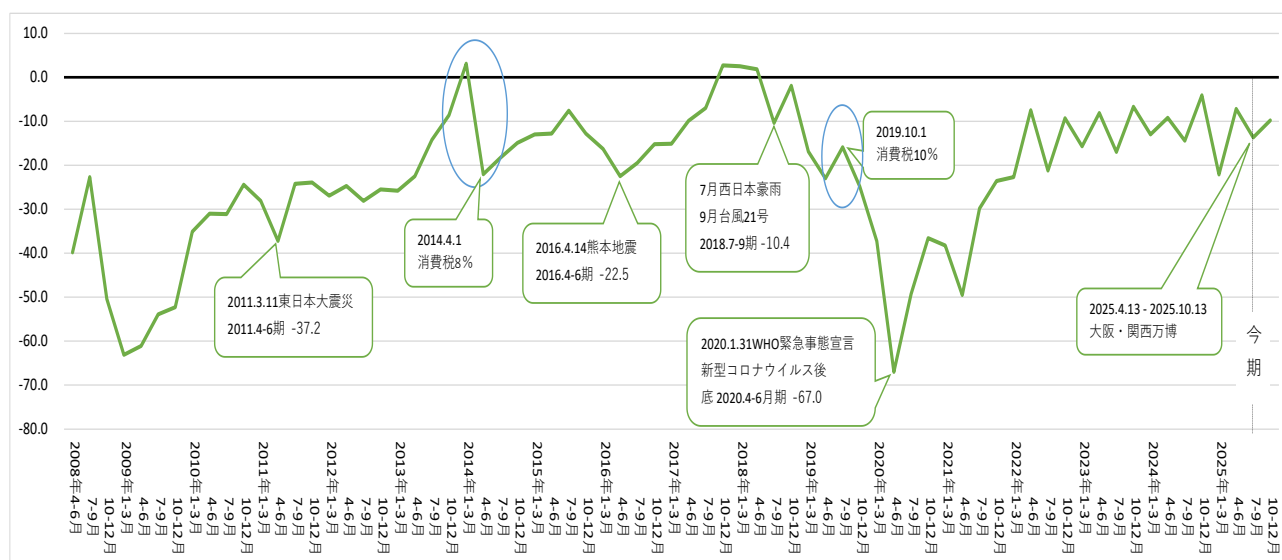
自社業況DIは、全産業でマイナス 13.7 ポイントと、前期より 6.5 ポイントの低下

先行きについて、来期は増加傾向に転じる見通し

- 今期（2025年7～9月期）の業況DIは▲13.7と、前期（▲7.2）と比べて6.5ポイント低下した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲17.9と、前期（▲7.9）より10.0ポイント低下した。
非製造業の今期の業況DIは▲12.6と、前期（▲7.0）より5.6ポイント低下した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲8.3と、前期（▲16.7）より8.4ポイント増加した。
中規模企業の業況DIは▲4.7と、前期（0.6）より5.3ポイント低下した。小規模企業の業況DIは▲21.4と、前期（▲13.6）より7.8ポイント低下した。
- 先行きについて、来期（2025年10～12月期）の業況DIは▲9.8と、今期（▲13.7）より3.9ポイント増加する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：751社、回収率：37.5%）

【調査時期】 2025年9月5日（金）～2025年9月26日（金）

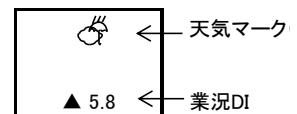


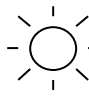
区分 1	区分 2	業況DI（上昇一下降）		
		2025.4~6	2025.7~9	2025.10~12 （予測）
全体		-7.2	-13.7	-9.8
規模別	大規模	-16.7	-8.3	-50.0
	中規模	0.6	-4.7	0.3
	小規模	-13.6	-21.4	-17.2
業種別	製造業	-7.9	-17.9	-11.3
	非製造業	-7.0	-12.6	-9.4

【業種別動向】(前期:令和7年4月～6月期、今期:令和7年7月～9月期、来期:令和7年10月～12月期)

区分1	区分2	前 期	今 期	来 期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		 ▲ 7.2	 ▲ 13.7	 ▲ 9.8	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	 ▲ 8.7	 ▲ 47.8	 17.4	・今期、来期ともに業況は不変と見ており、原材料費や人件費も上昇が一服している。(食料品製造業) ・今期の売上は好調だが原材料費や人件費の高止まりにより利益は厳しい。来期は改善予想。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	 ▲ 5.9	 ▲ 29.4	 ▲ 23.5	・今期は受注状況に大きな変動は無く、来期も変動は小さいと予測している。(化学工業) ・今期は現状維持に留まったが、来期の受注は増加傾向で改善を予測。(化学工業)
	ゴム製品製造業	 6.2	 ▲ 50.0	 ▲ 12.5	・今期は前期並みの受注を維持したが、来期は受注が減少しており、業況は悪くなると予測。(ゴム製品製造業) ・今期は受注が減少傾向で人手不足も影響している。来期も回復の見通しは無し。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	 ▲ 14.7	 ▲ 2.9	 ▲ 17.6	・今期は取引先の設備投資が増加して上昇が続いたが、来期までは続かない見通し。(金属製品製造業) ・今期、来期ともに橋梁関連の受注が減少している為、下降が続くと見通している。(金属製品製造業)
	一般機械器具	 ▲ 28.6	 ▲ 14.3	 15.4	・関税の影響を受けた同業の受注が伸び悩んでおり、影響を受けていない分野の競合が激化している。(生産用機械器具製造業) ・今期の受注は安定して推移したが、来期は関税の影響が始めると予測。(生産用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	 9.1	 27.3	 ▲ 18.2	・今期は関税の影響から大手の動きが鈍っており、来期は総裁選後に景況が回復する事を期待している。(電子部品製造業) ・今期は受注減少が続いており、来期も回復の見通しが立っていない。(輸送用機器器具製造業)
	その他の製造業	 ▲ 5.6	 ▲ 8.3	 ▲ 25.0	・今期までは海外需要が高く好調であったが、来期以降は関税の影響から下降する見通し。(その他製造業) ・今期は天候不順や資材高騰により不調であったが、来期は冬作物に入る為、回復を予測。(その他製造業)
非製造業	建設業	 ▲ 17.9	 ▲ 9.0	 ▲ 12.9	・従来より広告効果が落ちており、今期、来期共に減少を見込むほか、資材高騰が懸念材料。(識別工事業) ・固定電話のユーザー減少によって工事件数も減少しており、今後も減少は止まらないと予測。(設備工事業)
	運輸・倉庫業	 6.9	 ▲ 10.3	 ▲ 10.3	・修繕費や燃料・部品代金の上昇で今後も厳しい環境が続く見込み。(倉庫業) ・今期は受注が増加する中で経費削減により利益も確保でき、来期も受注は維持できる見込み。(運輸付帯サービス業)
	卸売業	 ▲ 15.7	 ▲ 14.7	 4.3	・受注状況は今期から来期にかけて大きく変わっておらず、現状は関税の影響なども受けていない。(機械器具卸売業) ・今期は万博で大阪方面の旅行客が増加、神戸方面の旅行客は減少したが、来期は万博が終了し、年末に温泉地の旅行客増加を期待。(その他卸売業)
	小売業	 ▲ 17.2	 ▲ 42.7	 ▲ 31.1	・顧客数に大きな変化は無く、今期、来期共に横這いを予測。(その他の小売業) ・今期は下降したが、来期には持ち直して年間では横這い推移となる見込み。(その他の小売業)
	不動産業	 ▲ 1.9	 0.0	 1.9	・今期は高齢者客層の減少により業況は下降し、来期も回復はしない見通し。(不動産業) ・今期、来期ともに入居状況に変化は無く、家賃収入に変動は少ない。(不動産賃貸業)
	情報サービス	 3.7	 18.5	 ▲ 7.4	・番組制作業務で安定しているが、今期は若干上昇、来期は変動無しを予測。(情報サービス業) ・業界自体が春に売り上げが落ち込んで、夏にかけて上がってくるため今期は上昇。来期は大型プロジェクトも獲得できた。(情報サービス業)
	宿泊・飲食	 ▲ 9.1	 ▲ 1.8	 ▲ 1.8	・万博の影響で顧客が大阪方面に流れている事で今期は下降。来期も急激な回復は無いと予測。(飲食業) ・看板商品の売行きが好調で今期は上昇したが、来期は最低賃金の上昇などを考慮して下降を予測。(飲食業)
	対事業所サービス	 3.1	 0.0	 ▲ 8.2	・景況に左右され難い扱い品である為、今期不変であったように来期も不変を見込む。(専門サービス業) ・新規顧客増加により業績は好調で、来期も業況は上昇を見込んでいる。(自動車整備業)
	対個人サービス	 6.1	 ▲ 10.6	 3.1	・今期は前期に比べて申込者が減少しており、来期の見通しも不透明。(教育・学習支援業) ・学校経営において学費収入や入学人数の変動があるが、現状は安定している。(教育・学習支援業)

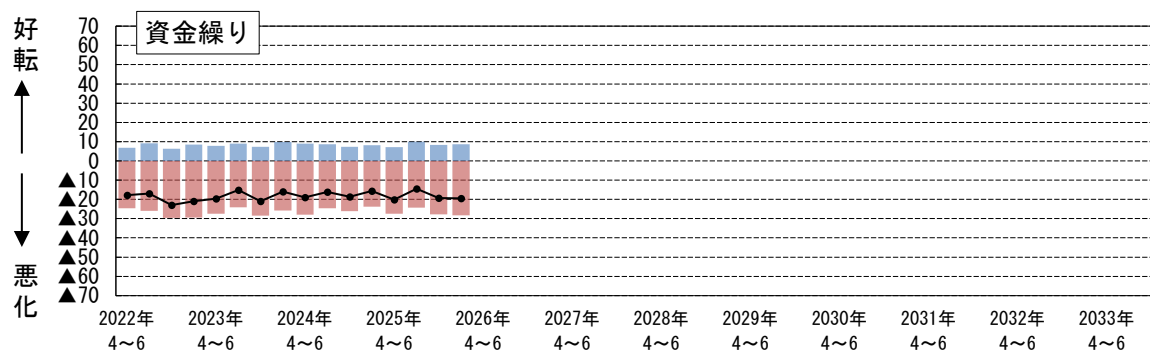
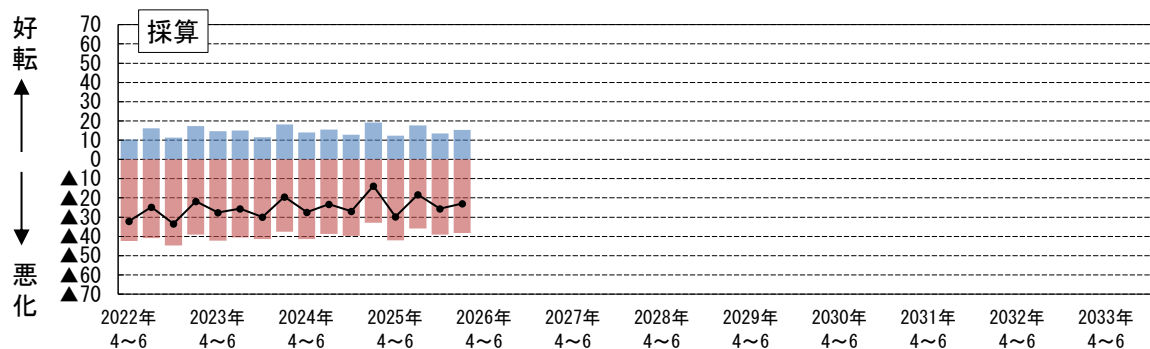
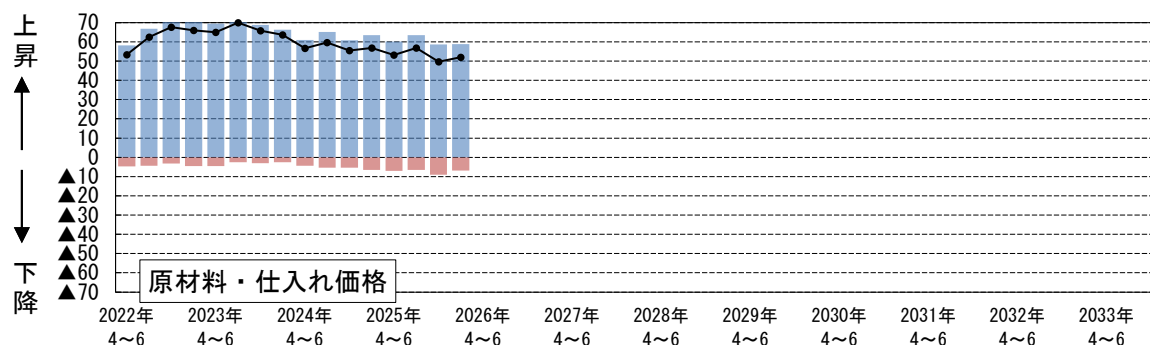
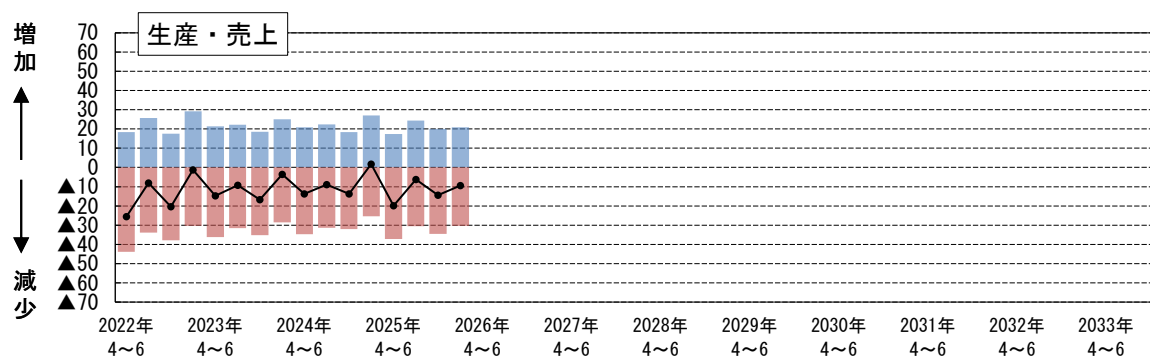
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0～▲40.1	▲40.0～▲20.1	▲20.0～▲5.1	▲5.0～5.0	5.1～20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

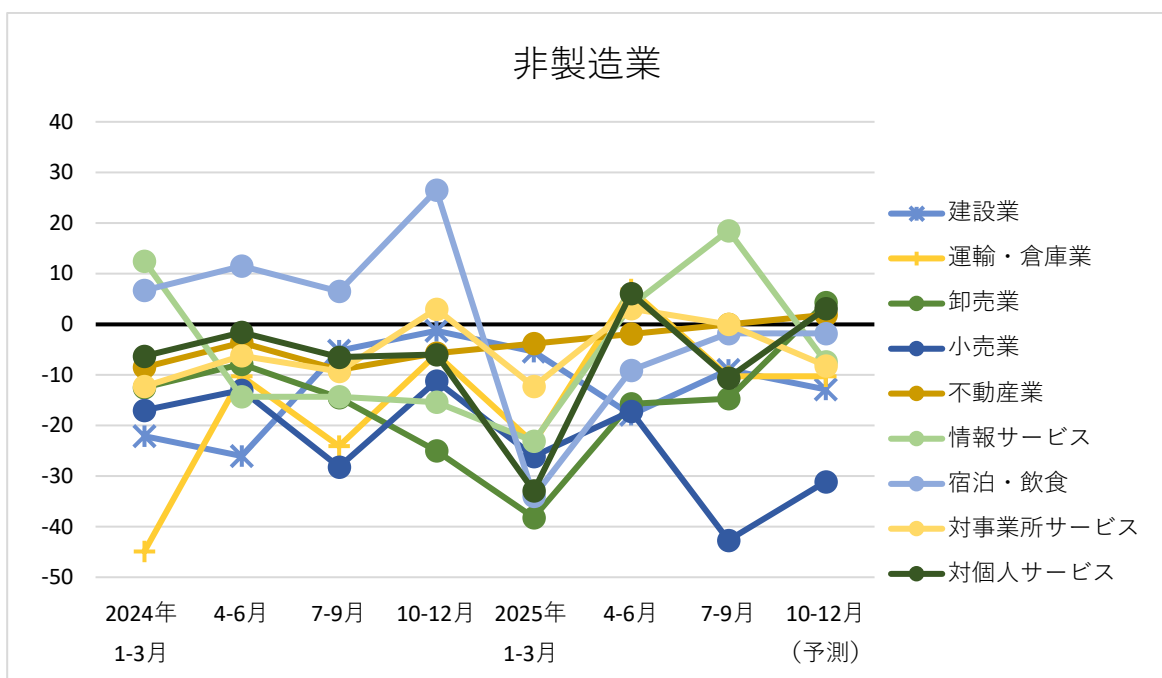
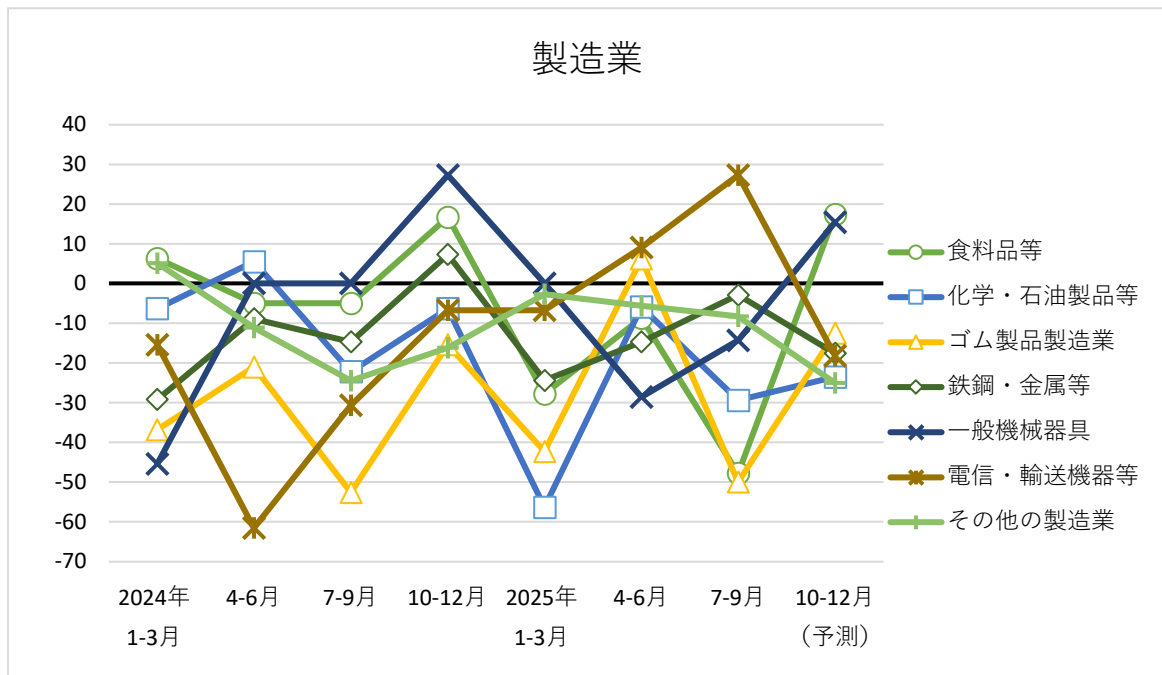
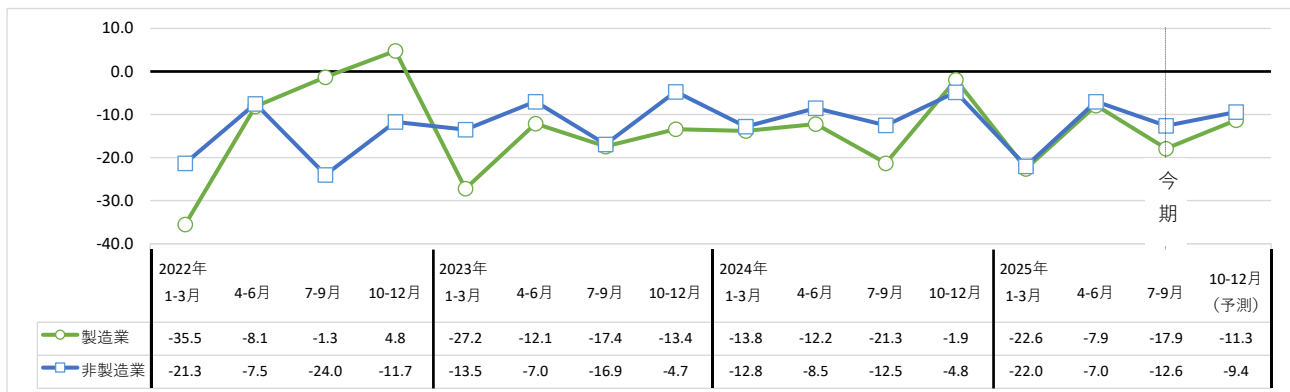
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

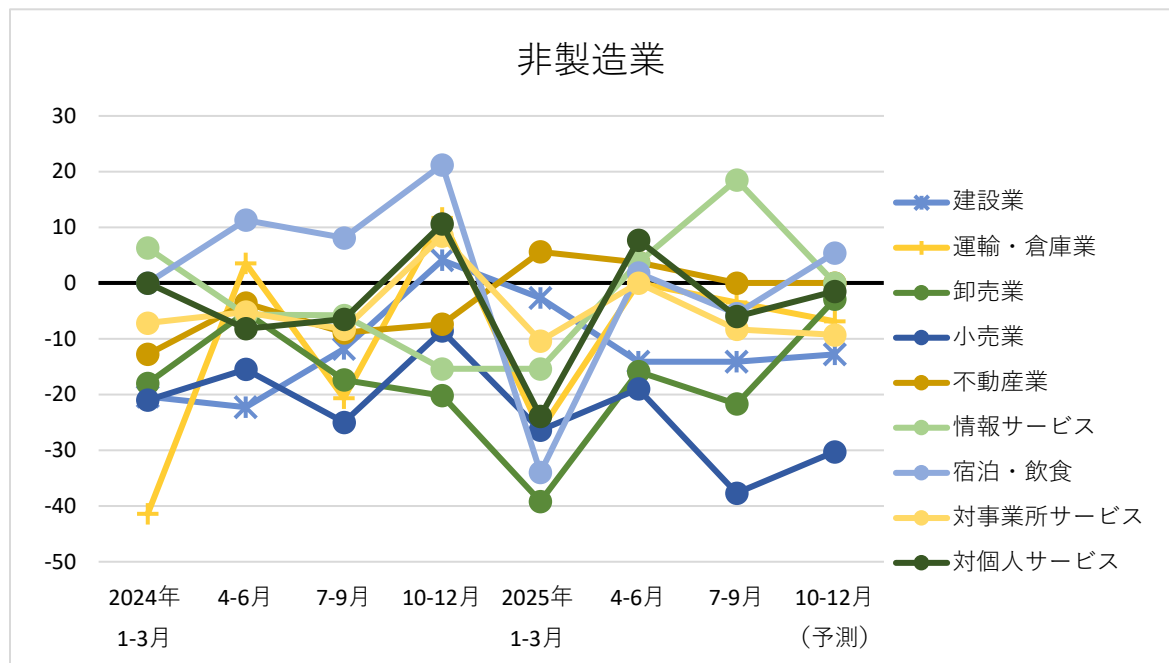
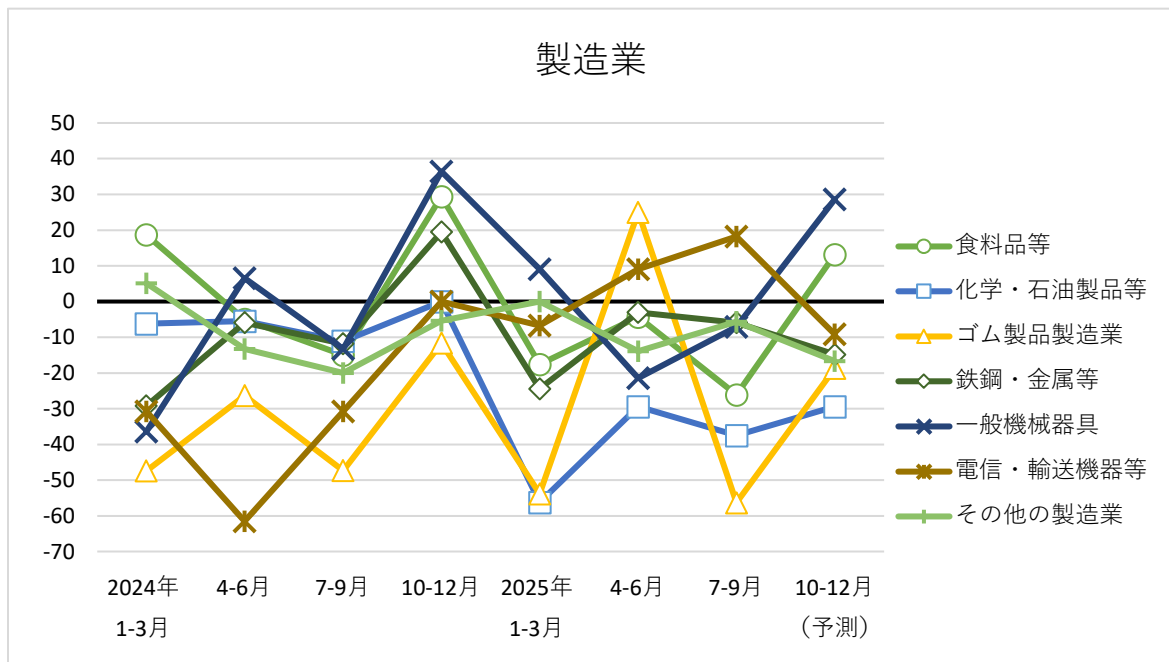
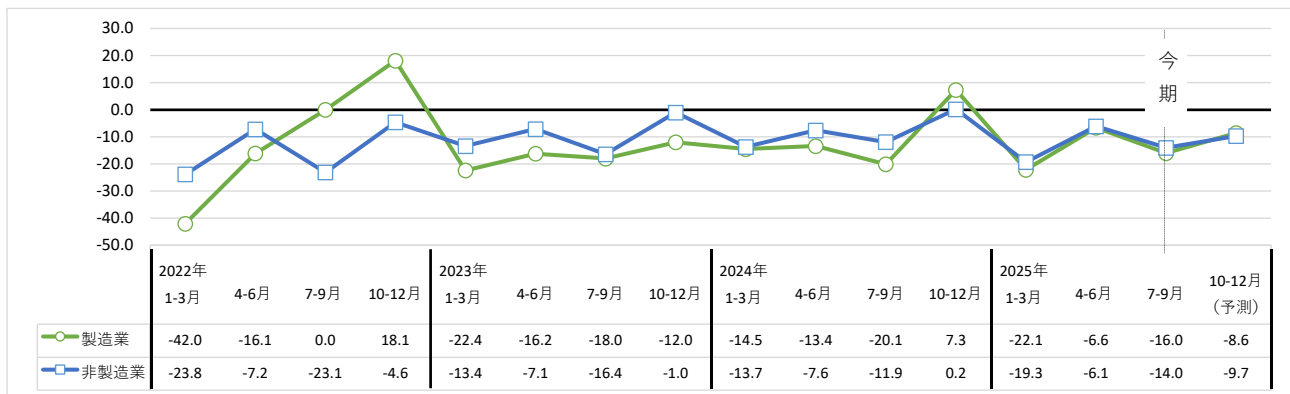


区分 1	区分 2	区分 3	業況DI（上昇－下降）		
			2025.4~6	2025.7~9	2025.10~12 （予測）
全体			-7.2	-13.7	-9.8
規模別	大規模		-16.7	-8.3	-50.0
	中規模		0.6	-4.7	0.3
	小規模		-13.6	-21.4	-17.2
業種別	製造業		-7.9	-17.9	-11.3
		食料品等	-8.7	-47.8	17.4
		化学・石油製品等	-5.9	-29.4	-23.5
		ゴム製品製造業	6.2	-50.0	-12.5
		鉄鋼・金属等	-14.7	-2.9	-17.6
		一般機械器具	-28.6	-14.3	15.4
		電信・輸送機器等	9.1	27.3	-18.2
		その他の製造業	-5.6	-8.3	-25.0
	非製造業		-7.0	-12.6	-9.4
		建設業	-17.9	-9.0	-12.9
		運輸・倉庫業	6.9	-10.3	-10.3
		卸売業	-15.7	-14.7	4.3
		小売業	-17.2	-42.7	-31.1
		不動産業	-1.9	0.0	1.9
		情報サービス	3.7	18.5	-7.4
		宿泊・飲食	-9.1	-1.8	-1.8
		対事業所サービス	3.1	0.0	-8.2
		対個人サービス	6.1	-10.6	3.1

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

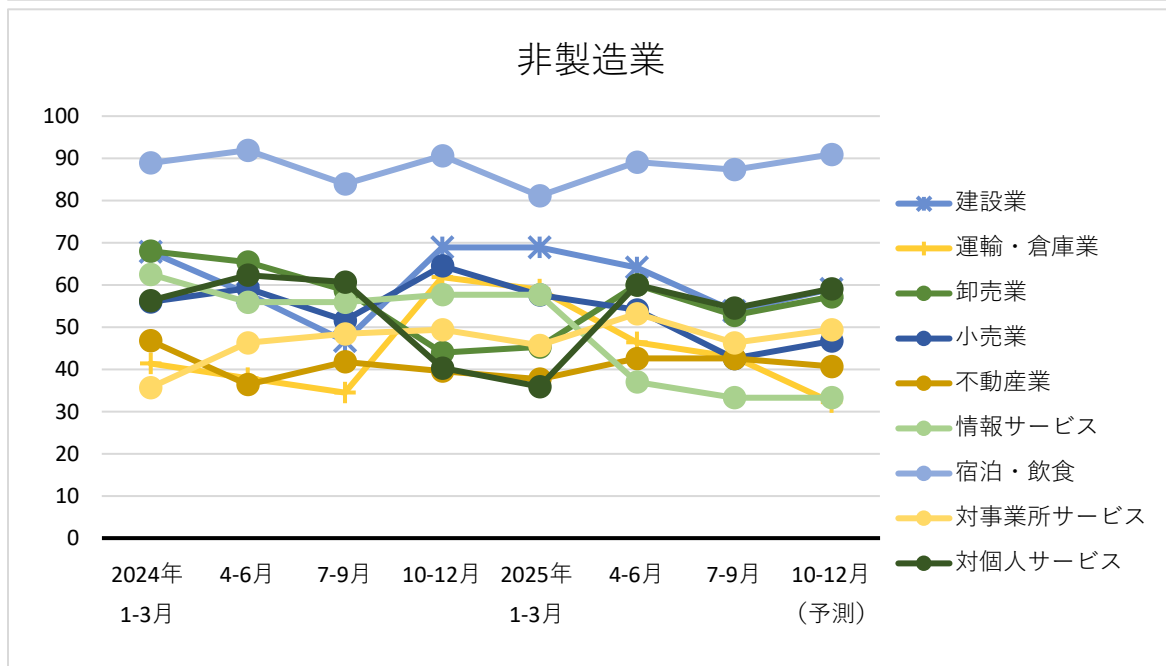
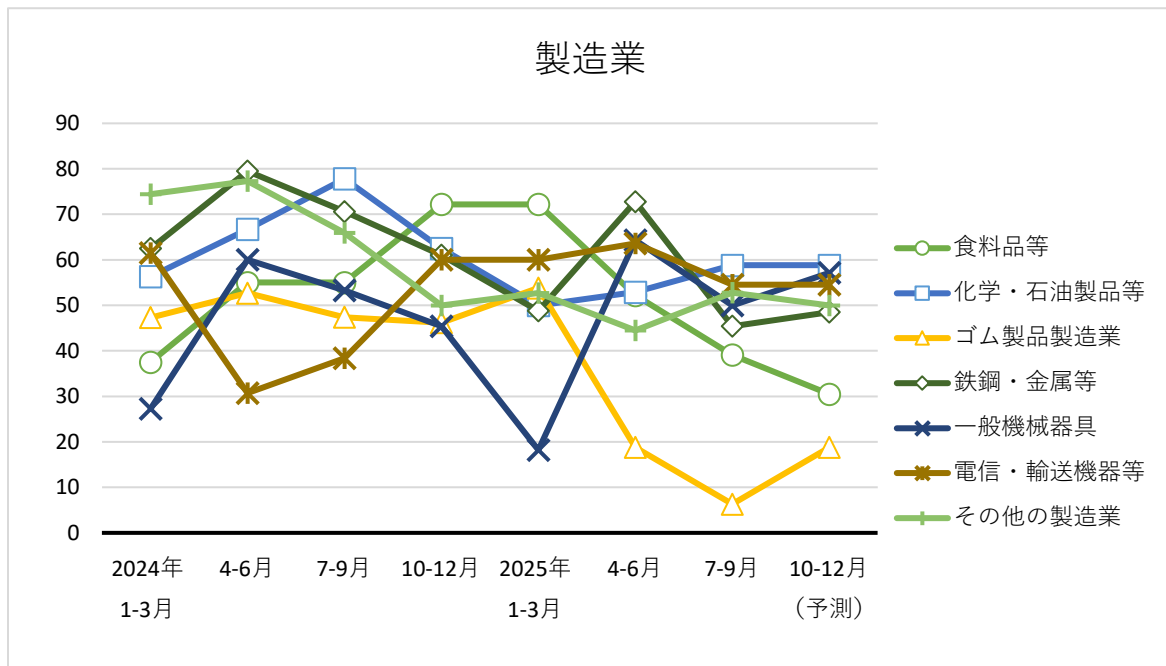
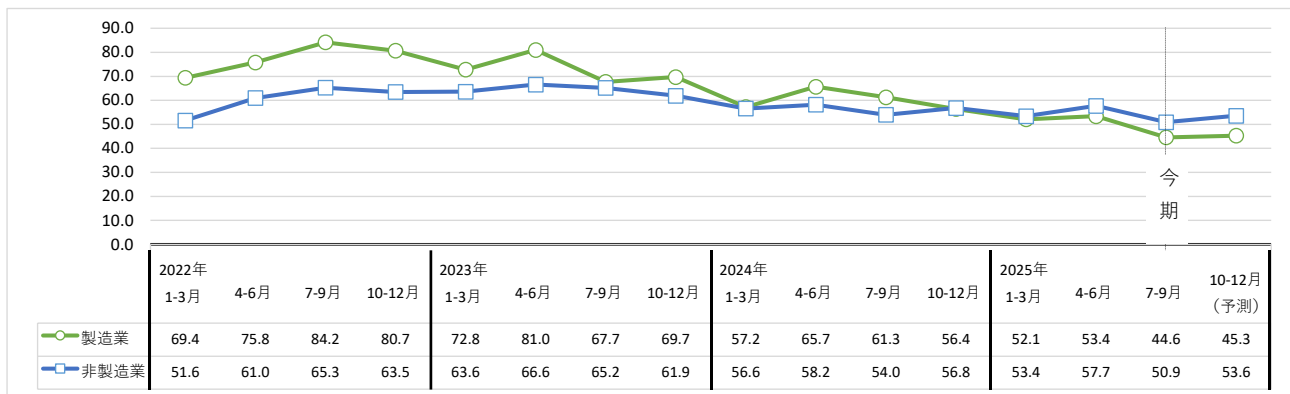


区分 1	区分 2	区分 3	生産・売上DI（増加－減少）		
			2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12 （予測）
全体			-6.2	-14.4	-9.4
規模別	大規模		-16.7	-25.0	-33.4
	中規模		1.5	-3.6	0.6
	小規模		-12.5	-23.2	-17.4
業種別	製造業		-6.6	-16.0	-8.6
		食料品等	-4.3	-26.1	13.1
		化学・石油製品等	-29.4	-37.5	-29.4
		ゴム製品製造業	25.0	-56.3	-18.7
		鉄鋼・金属等	-3.0	-5.9	-14.8
		一般機械器具	-21.4	-7.1	28.6
		電信・輸送機器等	9.1	18.2	-9.1
		その他の製造業	-13.9	-5.6	-16.7
	非製造業		-6.1	-14.0	-9.7
		建設業	-14.1	-14.1	-12.8
		運輸・倉庫業	0.0	-3.5	-6.9
		卸売業	-15.9	-21.7	-2.9
		小売業	-19.0	-37.7	-30.3
		不動産業	3.7	0.0	0.0
		情報サービス	3.7	18.5	0.0
		宿泊・飲食	1.8	-5.5	5.4
		対事業所サービス	0.0	-8.3	-9.3
		対個人サービス	7.7	-6.0	-1.5

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

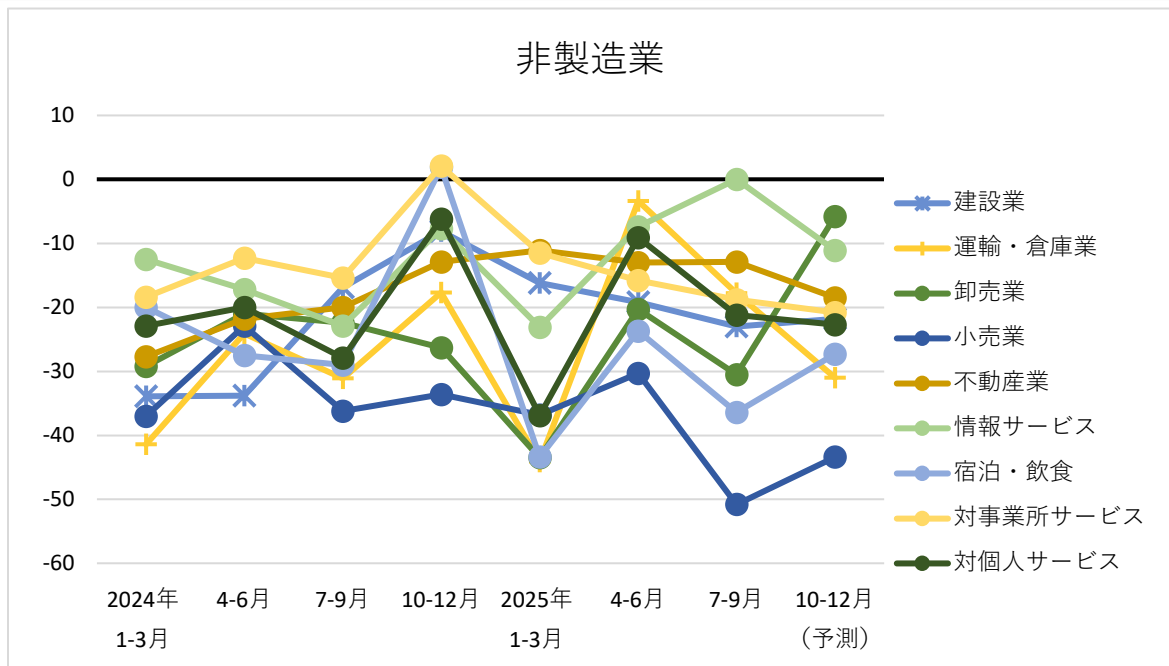
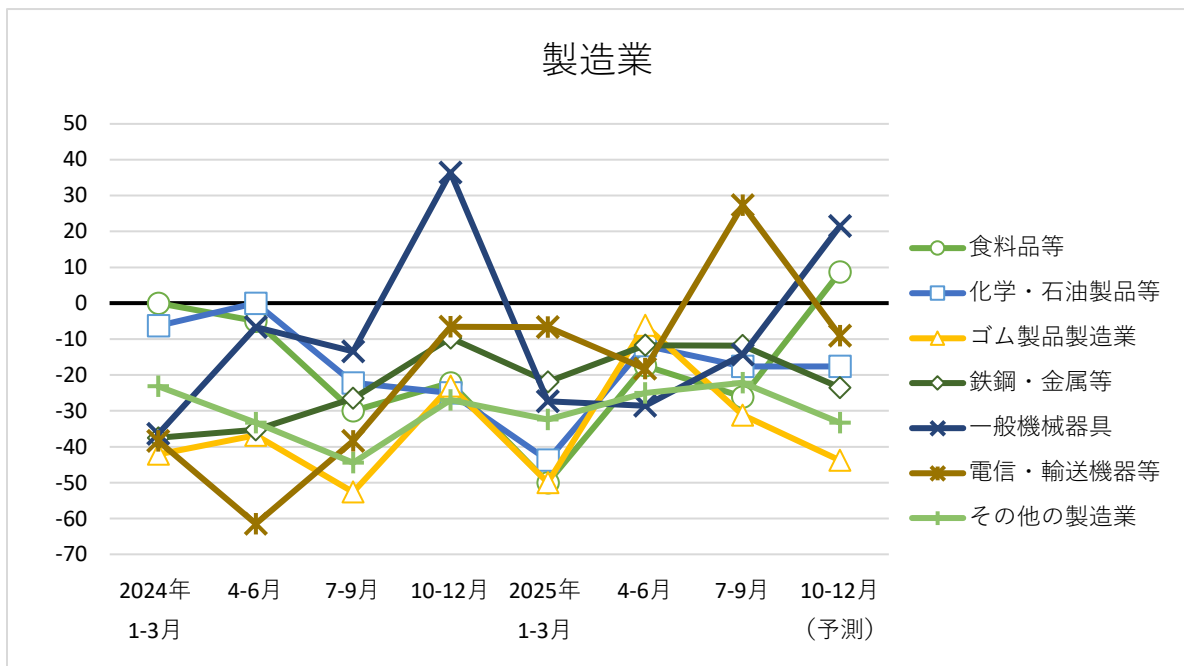
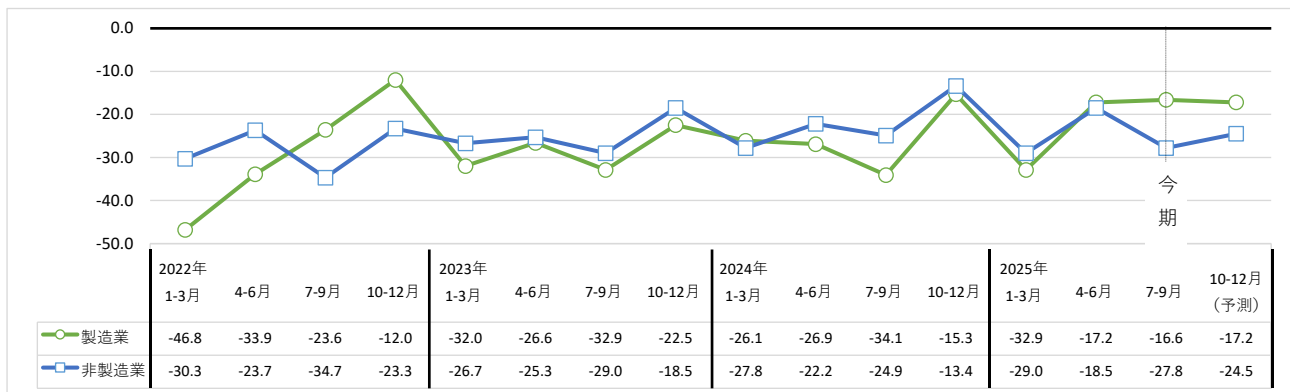


区分 1	区分 2	区分 3	原材料・仕入れ価格（上昇一下降）		
			2025.4~6	2025.7~9	2025.10~12 （予測）
全体			56.8	49.7	52.0
規模別	大規模		50.0	0.0	16.6
	中規模		68.2	62.0	62.0
	小規模		47.2	40.6	44.4
業種別	製造業		53.4	44.6	45.3
		食料品等	52.2	39.1	30.5
		化学・石油製品等	52.9	58.8	58.8
		ゴム製品製造業	18.8	6.3	18.8
		鉄鋼・金属等	72.8	45.4	48.5
		一般機械器具	64.3	50.0	57.1
		電信・輸送機器等	63.6	54.5	54.5
		その他の製造業	44.5	52.8	50.0
	非製造業		57.7	50.9	53.6
		建設業	64.1	53.8	59.0
		運輸・倉庫業	46.4	42.9	32.2
		卸売業	60.0	52.8	57.2
		小売業	54.1	42.6	46.7
		不動産業	42.6	42.6	40.7
		情報サービス	37.0	33.3	33.3
		宿泊・飲食	89.1	87.3	90.9
		対事業所サービス	53.2	46.3	49.4
		対個人サービス	60.0	54.5	59.1

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

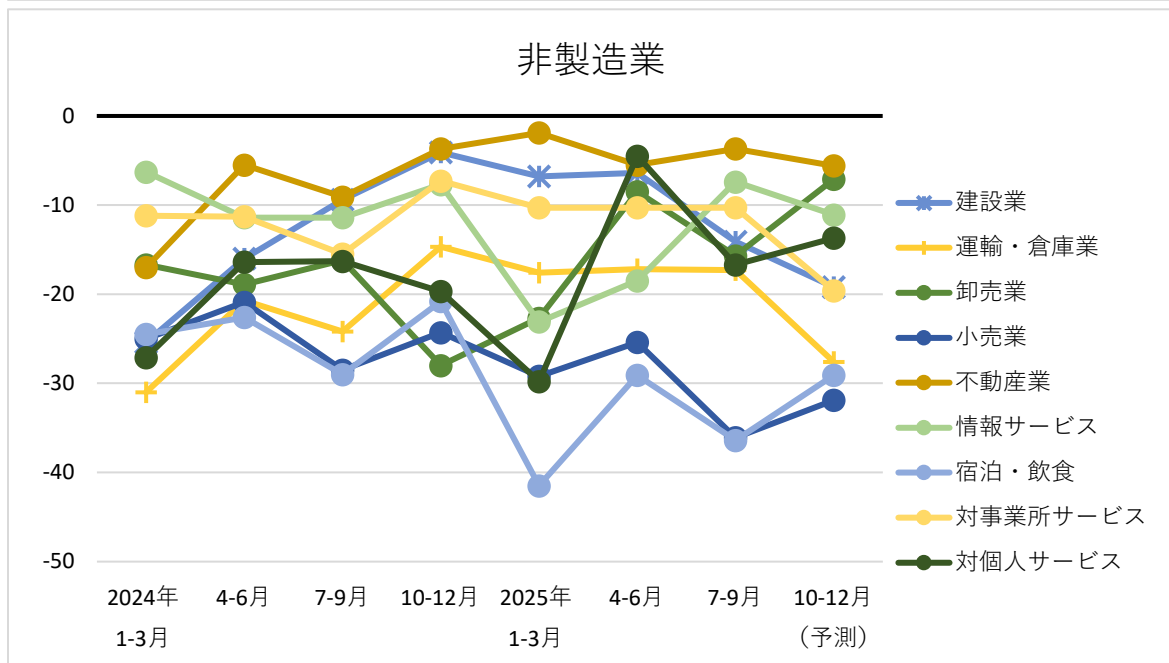
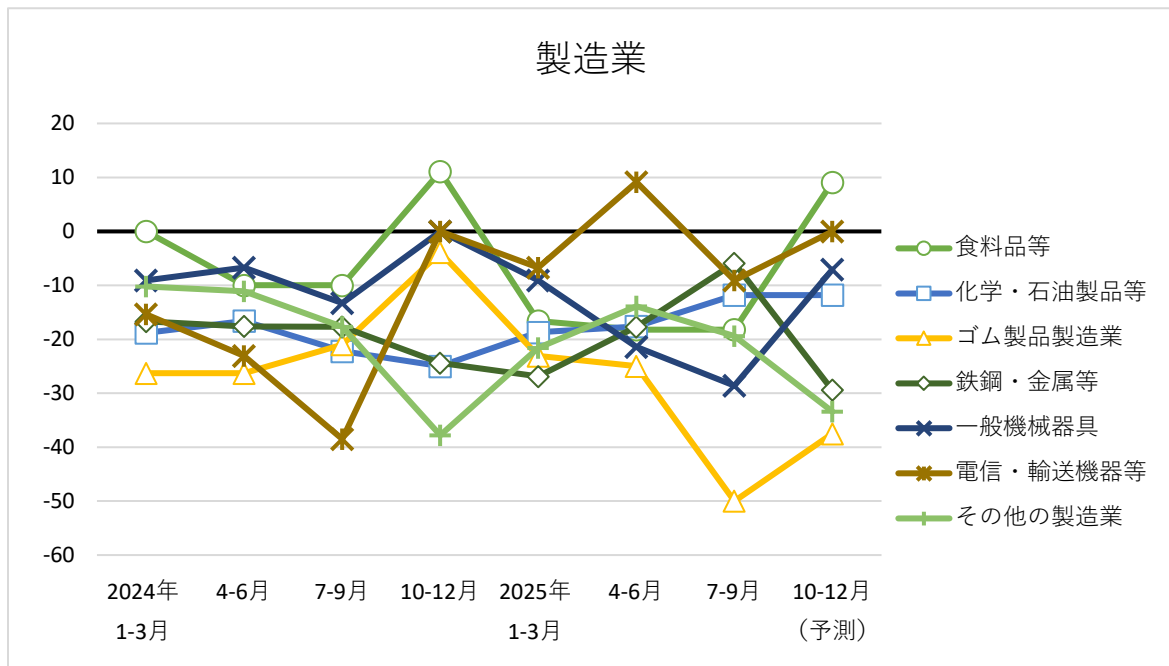
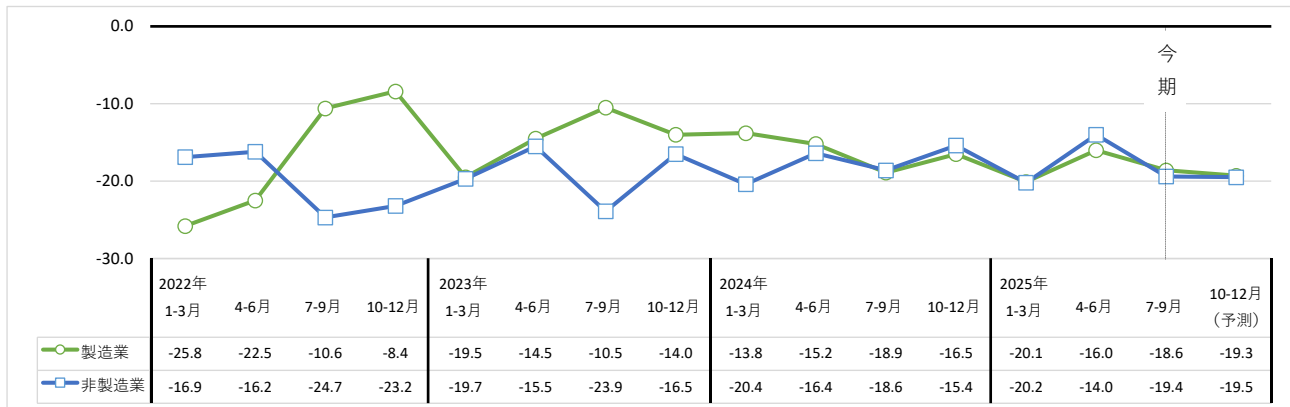


区分 1	区分 2	区分 3	採算（好転－悪化）		
			2025.4~6	2025.7~9	2025.10~12 （予測）
全体			-18.2	-25.5	-23.0
規模別	大規模		-25.0	-8.3	-50.0
	中規模		-13.0	-21.3	-15.4
	小規模		-22.4	-29.6	-28.8
業種別	製造業		-17.2	-16.6	-17.2
		食料品等	-17.4	-26.1	8.7
		化学・石油製品等	-11.8	-17.6	-17.6
		ゴム製品製造業	-6.2	-31.2	-43.8
		鉄鋼・金属等	-11.7	-11.8	-23.5
		一般機械器具	-28.6	-14.3	21.5
		電信・輸送機器等	-18.2	27.3	-9.1
		その他の製造業	-25.0	-22.2	-33.3
	非製造業		-18.5	-27.8	-24.5
		建設業	-19.2	-23.0	-21.8
		運輸・倉庫業	-3.4	-17.8	-31.0
		卸売業	-20.3	-30.5	-5.8
		小売業	-30.3	-50.8	-43.4
		不動産業	-13.0	-12.9	-18.5
		情報サービス	-7.4	0.0	-11.1
		宿泊・飲食	-23.7	-36.4	-27.3
		対事業所サービス	-15.8	-18.8	-20.8
		対個人サービス	-9.1	-21.2	-22.7

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分 1	区分 2	区分 3	資金繰り（好転－悪化）		
			2025.4~6	2025.7~9	2025.10~12 （予測）
全体			-14.4	-19.3	-19.5
規模別	大規模		-8.4	-25.0	-16.7
	中規模		-10.7	-17.4	-15.0
	小規模		-17.9	-20.6	-23.4
業種別	製造業		-16.0	-18.6	-19.3
		食料品等	-18.2	-18.2	9.1
		化学・石油製品等	-17.6	-11.8	-11.8
		ゴム製品製造業	-25.0	-50.0	-37.5
		鉄鋼・金属等	-17.7	-5.9	-29.4
		一般機械器具	-21.4	-28.6	-7.1
		電信・輸送機器等	9.1	-9.1	0.0
		その他の製造業	-13.9	-19.4	-33.4
	非製造業		-14.0	-19.4	-19.5
		建設業	-6.4	-14.1	-19.2
		運輸・倉庫業	-17.2	-17.3	-27.6
		卸売業	-8.5	-15.7	-7.1
		小売業	-25.4	-36.1	-31.9
		不動産業	-5.5	-3.7	-5.6
		情報サービス	-18.5	-7.4	-11.1
		宿泊・飲食	-29.1	-36.4	-29.1
		対事業所サービス	-10.3	-10.3	-19.6
		対個人サービス	-4.5	-16.7	-13.7

3. アンケート内容（オンライン調査）

第 45 回 神戸市景況・雇用動向調査

総務省届出済
神戸市 1 号

■対象要件の確認

事業所の場所

■属 性

資本金 従業員数（常用・日雇・パートを含めて）

主な業種・大分類・中分類（生産、売上、従業員数などから主な事業を判断し 1 つ選択）

■景況に関する調査

（設問 1～5 共通）

それぞれ、直前の四半期と比べてどうか、またはどう思うかをお答えください。

- ・ 2025 年 4～6 月期（実績）
- ・ 2025 年 7～9 月期（実績）
- ・ 2025 年 10～12 月期（予想）

1. 貴社の業況

業況がどちらに向かっているかの質問です。売上、生産、利益、受注などを総合的にご判断のうえ、単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：

2. 生産・売上

生産・売上がどちらに向かっているかの質問です。単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：

3. 原材料・仕入価格

原材料価格や仕入価格がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：

4. 採算

採算がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：

5. 資金繰り

資金繰りがどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：

第45回 神戸市内景況・雇用動向調査

<結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10